

卒業生から新入生へ ECOLO がつなぐリサイクルの環

岡山大学サークル環境部 ECOLO 「リサイクル市」

3月28日、今年も岡山大学では「リサイクル市」が開催されます。この大イベントを運営するのは、校友会認定サークルの「環境部 ECOLO」。部員たちにとって、最も忙しい季節がやってきます。

「卒業された先輩方からいらなくなった家具や家電を引き取って、新入生に格安で提供します。資源を有効活用し、リユースの大切さを知ってもらうというのがリサイクル市の目的です。毎年、300品くらいの物品が集まり、運営はとても大変ですが、それだけにやりがいもあります。これからも続けていきたいと思っています」と話すのは、新部長の中元慎太郎さん(2回生)です。



リサイクル市の会場：回収した家具や家電は約300品。1日でほぼ売り切れに

リサイクル市のスタートは、2001年3月。「4年間しか使われていない家具や家電が、卒業と同時に粗大ごみにされるのはもったいない。ごみを少しでも減らしたい」と、他の大学で行われていたリサイクル市の影響を受けたことがきっかけで始まりました。

回収から掃除、販売、配達まですべて部員だけで行っています。

毎年冬になると、卒業生向けに不用品家具無料回収のチラシを作って、各研究室に手配りします。回収作業も、レンタカー

を借りて日程調整し、自分たちで行っています。

「家具や家電は廃棄するとお金が掛かります。まだ使えるものなら、無料で引き取ってもらえるというのでありがたいです」(卒業生)

「ある卒業生の家具を回収しに行ったら、“これ、リサイクル市で買ったんだよ”と言われました。リサイクルが一巡して、また次の人に渡っていく。こんなふうにうまく資源を循環させる活動にかかわれるのは楽しいですね」(前副部長の谷昌彦さん・3回生)

回収した家具や家電は、自分たちの手できれいに掃除し、保管場所いっぱいに積み上げていきます。値段は商品の状態にもよりますが、冷蔵庫や洗濯機は500円～2,000円、棚は300円～500円、電子レンジは800円くらい。

「一人が買える品数は制限していますが、一般のお客さんもいらっちゃって、あっという間に売り切れてしまいます。自分が手間を掛けた商品が売れていくときが一番楽しいし、面白いで



リサイクル市の準備(搬送)：不用品家具の回収も、レンタカーを借りて自力で搬送します

す」(谷さん)

「収益が出たときは、少しでも環境保全活動に役立てばと思い、地球環境基金に寄付しています」(前会計担当の北畠まゆ美さん・3回生)

リサイクル市の運営には、こうした部員たちの働きはもとより、入学案内書類に開催チラシを同封してもらったり、物品の保管場所や当日の会場を提供してもらったりするなど、大学の協力も欠かせません。

「最近のECOLOは、他団体からの誘いも多く、環境教育を手伝ったり、エコ活動に参加したりする機会が増えました。僕たちが積極的に行動することで、大学内だけでなく地域にも、リサイクルの輪、エコの輪を広げていきたいです」(中元さん)



大学祭では、ホテルの廃棄キャンドルを利用してキャンドルづくりを実施

岡山大学サークル 環境部 ECOLO

創立：2000年／部員数：37人 「環境にやさしく、楽しく活動」をモットーに、リサイクル市の開催や畑づくり、環境情報誌『TERRA』(→写真)の発行など様々な活動をしています。

〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号
<http://members.at.infoseek.co.jp/ecolo/index.htm>



エコポイントの活用によるグリーン家電普及促進事業

交換商品提供事業者が行う
環境寄附について

- 株式会社ジェフグルメカード
<http://www.jfcard.co.jp/>
- 株式会社日本フラワー振興協会
<http://www.jfpa.co.jp/>

上記の2社が、地球環境基金を寄付先に選定してくださいました。温かいご支援に心より御礼申し上げます。

KIKIN NEWS
基金ニュース